

2011 年度緩和ケアセンター研修会開催報告書

- 【名称】 **愛媛大学医学部附属病院緩和ケアセンター研修会**
「平成23年度第3回中四国がんプロフェッショナル養成インテンシブコース」
「第19回腫瘍センター講演会」
- 【日時】 平成23年12月1日（木）（17時40分から19時10分）
- 【主催】 愛媛大学医学部附属病院緩和ケアセンター
- 【共催】 愛媛大学医学部附属病院腫瘍センター
- 【後援】 中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアム
- 【開催場所】 愛媛大学医学部臨床第1講義室
愛媛県東温市志津川

【内容】

「開会の挨拶」 愛媛大学医学部附属病院腫瘍センター センター長 薬師神芳洋先生
「講演」 座長 愛媛大学医学部附属病院緩和ケアセンター 坪田信三先生

『中国・四国緩和ケアチームの現状—アンケート結果から—

/香川大学緩和ケアチームの紹介』

演者 香川大学医学部附属病院 麻酔・ペインクリニック科 中條浩介先生

「症例検討」

座長 愛媛大学医学部附属病院緩和ケアセンター 坪田信三先生

1. 『外来で在宅医療を導入した患者とその家族への関わり』

麻酔科外来 林 博美先生

2. 『ターミナル期のがん患者とその家族への関わり

～チームで支えた在宅への移行～』

2号館5階 和田真由実先生

「閉会の挨拶」

愛媛大学医学部附属病院緩和ケアセンター センター長 長櫓 巧先生

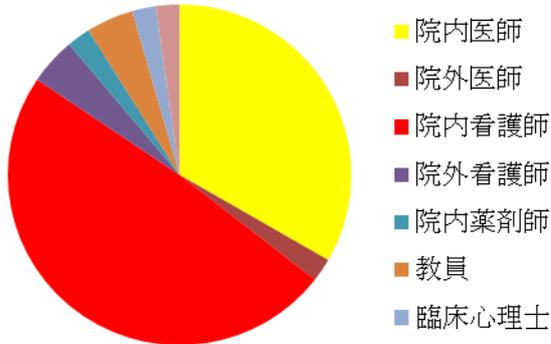
平成23年度緩和ケアセンター研修会参加者総数 46名

所属別：愛媛大学医学部附属病院 40名、愛媛大学医学部看護学科2名、松山ベテル病院3名、
オレンジの会 1名

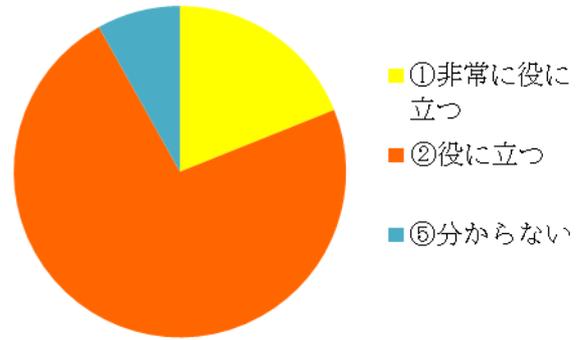
職種別：医師17名、看護師26名、薬剤師1名、臨床心理士1名、患者会1名

総合評価結果 (39 名が回答)

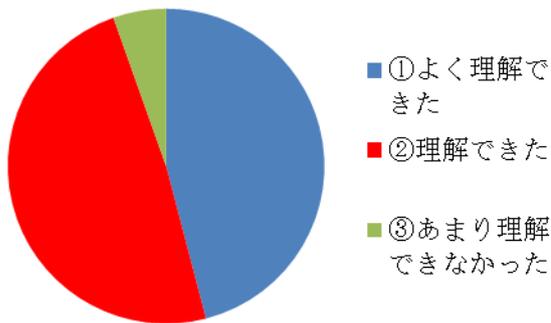
質問 1 参加者の職種と所属について



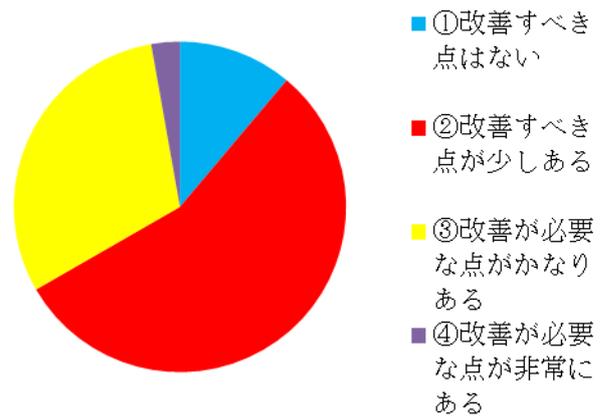
質問 4 本日の講演会が役に立つか



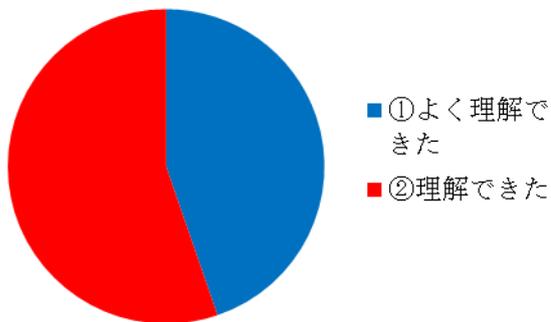
質問 2 講演会の理解に関して



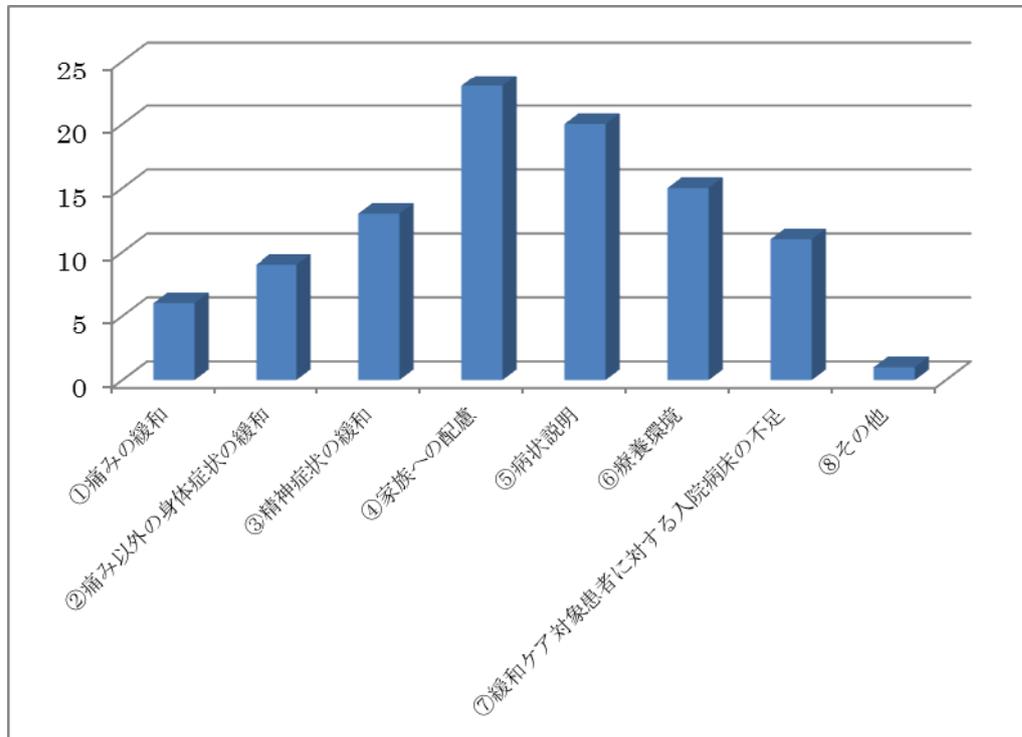
質問 5 日常の緩和ケアに関して



質問 3 症例検討会の理解に関して



質問 6 改善すべき点に関して（複数回答）



自由意見

- ・終末期の患者を大学病院で看取る事に疑問がある。緩和ケアで上手くいった症例の発表であるが、疑問の残る症例もあってよいのではないかと思います。
- ・子供への説明やサポート体制が不十分
- ・2症例を聞かせていただき、入院時からのICの重要性と家族への積極的な介入の必要性を痛感しました。またここが課題であるとも感じました。
- ・緩和ケアに連絡方法がよく分からない。どういったことで連絡してもよいのかまだ不明確である
- ・病状説明は可能であれば、担当医と緩和ケア担当医同席で行っていただければ……。ときどきお互いに説明した事に食い違いや、患者や家族が理解されていなかった事がありました。
- ・慢性期の患者に対し実際に当院では緩和ケアに対しどのような方針で関わっていくのか指針のようなものがあればうれしく思います。
- ・緩和ケアに対する周囲の認知度はどうなっているのでしょうか。この分野は将来的にどのくらい必要度が上がっていくのでしょうか。
- ・医療ケアをどこまで行うのかに関して、医療者間で格差が大きいように感じます。チームケアをすすめていても主治医と他の医療者の連携が全体的に不足しているように思います。